

2018年度 決算説明資料

2019年4月24日

目次

I. 2018年度 決算概要

- ・ 2018年度 決算実績 サマリー
- ・ 2018年度 損益計算書
- ・ 事業別分析（空調事業）
- ・ 事業別分析（ボイラ事業）
- ・ 2018年度 貸借対照表

II. 2019年度 業績の見通し

- ・ 2019年度 業績予想
- ・ 事業別計画（空調事業）
- ・ 事業別計画（ボイラ事業）
- ・ 事業別計画（両事業に関する取組）

III. 参考資料

- ・ 売上高の推移（ヒストリカル・データ）
- ・ 利益の推移（ヒストリカル・データ）

2018年度 決算概要

2018年度 決算実績 サマリー

単位:百万円

	2017年度	2018年度	増減
受注高	17,281	19,132	+1,850
売上高	16,938	17,864	+925
営業利益	630	616	△13
経常利益	627	616	△11
税前ROIC	11.5%	10.7%	△0.8%
経常利益率	3.7%	3.4%	△0.3%

・受注高
 空調事業・ボイラ事業ともに機器本体、保守点検・改修改造工事（以下、メンテナンス工事）が好調に推移したため、前年度を上回る受注高となりました。

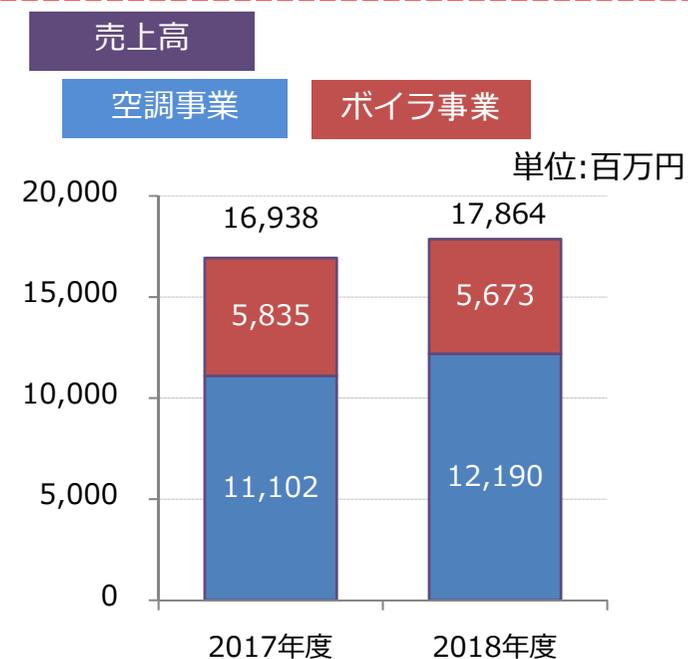
・売上高
 ボイラ機器での減収があったものの、空調事業の機器販売、付帯設備工事案件、両事業のメンテナンス工事が好調に推移したため、前年度を上回る売上高となりました。

・利益
 売上高の増加はあったものの、今後の売上拡大を見据えた人員拡充による人件費増加等により、減益となりました。

2018年度 損益計算書

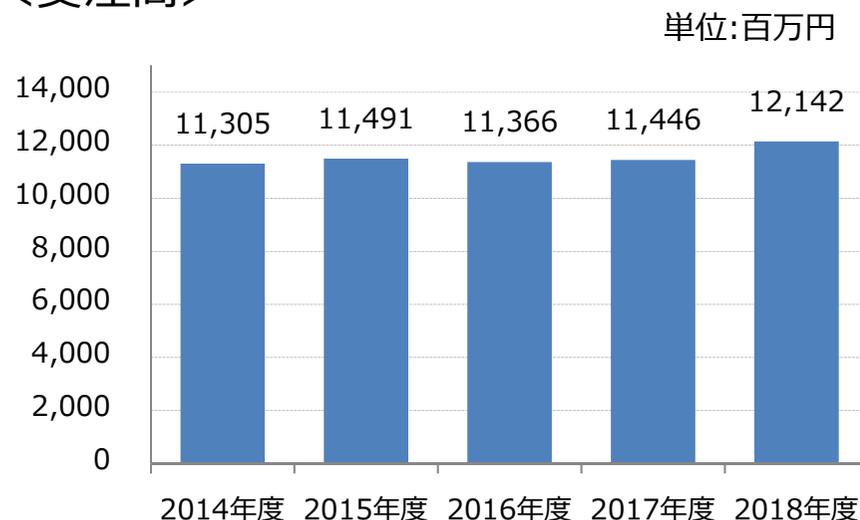
単位:百万円

	2017年度	2018年度	増減
売上高	16,938	17,864	+925
売上総利益	4,547	4,766	+218
販売費及び一般管理費	3,917	4,149	+231
営業利益	630	616	△13
営業外収益	11	14	+2
営業外費用	14	14	+0
経常利益	627	616	△11
税引前当期純利益	627	616	△11
法人税等	200	203	+2
当期純利益	427	413	△14



事業別分析（空調事業）

<受注高>



<受注高>

前年度に比べ空調機器の付帯設備工事案件が増加したことや、メンテナンス工事が好調に推移したことにより、前年度を上回りました。

<売上高>



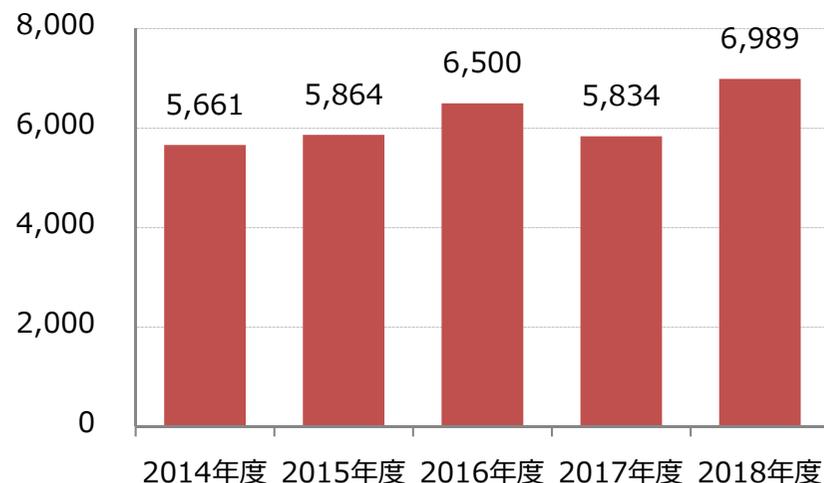
<売上高>

付帯設備工事案件やメンテナンス工事の増加に加えて、空調機器本体の売上が増加したことにより、前年度を上回りました。

事業別分析（ボイラ事業）

<受注高>

単位:百万円



<受注高>

前年度に比べ大型排熱ボイラ機器や貫流ボイラ機器が増加したことに加え、メンテナンス工事が増加したこと等により、前年度を上回りました。

<売上高>

単位:百万円



<売上高>

前年度に比べメンテナンス工事は増加したものの、前年度に大口の貫流ボイラ機器の売上があったこと等により、前年度を下回りました。

2018年度 貸借対照表

単位:百万円

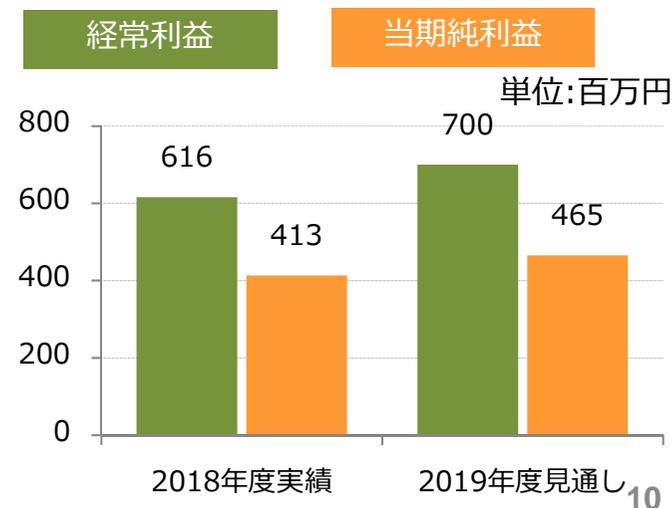
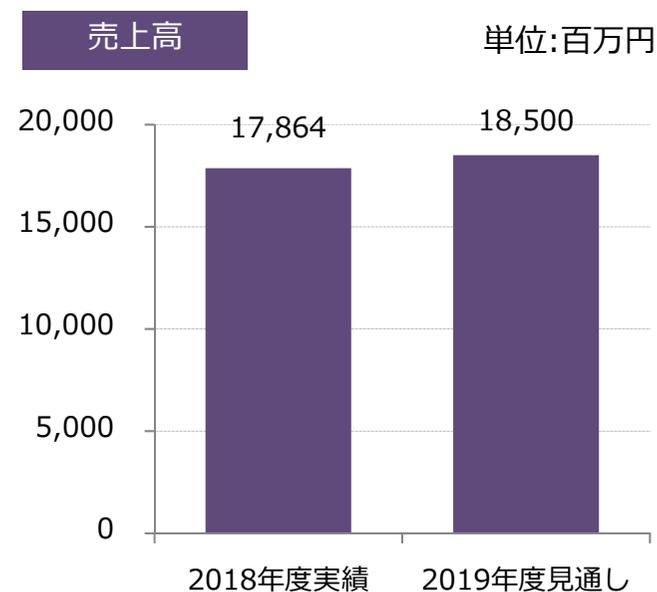
	2017年度	2018年度		2017年度	2018年度
流動資産	10,762	11,582	流動負債	6,518	6,788
現金及び預金	5	5	仕入債務	4,136	4,609
売上債権	6,733	7,065	受注損失引当金	321	339
棚卸資産	1,965	2,255	その他流動負債	2,060	1,839
短期貸付金	1,982	2,135	固定負債	2,985	3,236
その他流動資産	74	121	負債合計	9,503	10,024
固定資産	4,173	4,192	株主資本	5,390	5,702
有形固定資産	2,494	2,413	その他純資産	42	48
無形固定資産	248	221	純資産合計	5,433	5,750
投資その他の資産	1,431	1,557	負債・純資産合計	14,936	15,755
資産合計	14,936	15,775			

2019年度 業績の見通し

2019年度 業績予想

	2018年度 実績	2019年度 見通し	増減
売上高	17,864	18,500	+635
営業利益	616	700	+83
経常利益	616	700	+83
当期純利益	413	465	+51
税前ROIC	10.7%	11.4%	+0.7%
経常利益率	3.4%	3.8%	+0.3%

単位:百万円



事業別計画（空調事業）

吸収冷温水機の持つ省電力性や、熱源に廃熱や再生可能エネルギーを有効活用できる特性を活かし、機器単体のみでなく空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動の更なる強化に引き続き取り組んでまいります。

また、お客様の様々な稼働条件における省エネ効果の実現（定格効率及び期間効率）や、空調システム全体での省エネ制御（システム効率）への要求等に対し、最適な省エネ技術でお応えしてまいります。



事業別計画（ボイラ事業）

貫流ボイラでは、お客様の高効率・省エネルギーへの要望に幅広くお応え出来るよう、ラインナップ拡充に向けた製品開発を推進しており、製品競争力を強化してまいります。

排熱ボイラでは、「排熱の高度利用」を目指し、コージェネ用排熱ボイラを採用いただけるよう積極的に取り組んでまいります。

海外事業については、東南アジア市場で、機器・メンテナンスを合わせた営業活動を展開し、事業拡大に努めてまいります。

また、貫流ボイラ、排熱ボイラ、海外事業共に「機器＋薬品＋保証」のセット販売を推進し、ストックビジネスの基盤強化に取り組んでまいります。



事業別計画（両事業に関する取組）

・メンテナンス工事

当社の空調・ボイラ機器本体の高信頼性、耐久性の特長を活かした製品保証付きメンテナンス契約の提案活動を積極的に進め、ストックビジネスの強化に取り組んでまいります。また、24時間遠隔監視システム「テレメンテアドバンス」を進化させ、IoTを活用した故障発生未然防止、運転データ分析による省エネ提案等、お客様にさらに安心して当社製品をご使用頂けるよう努めてまいります。

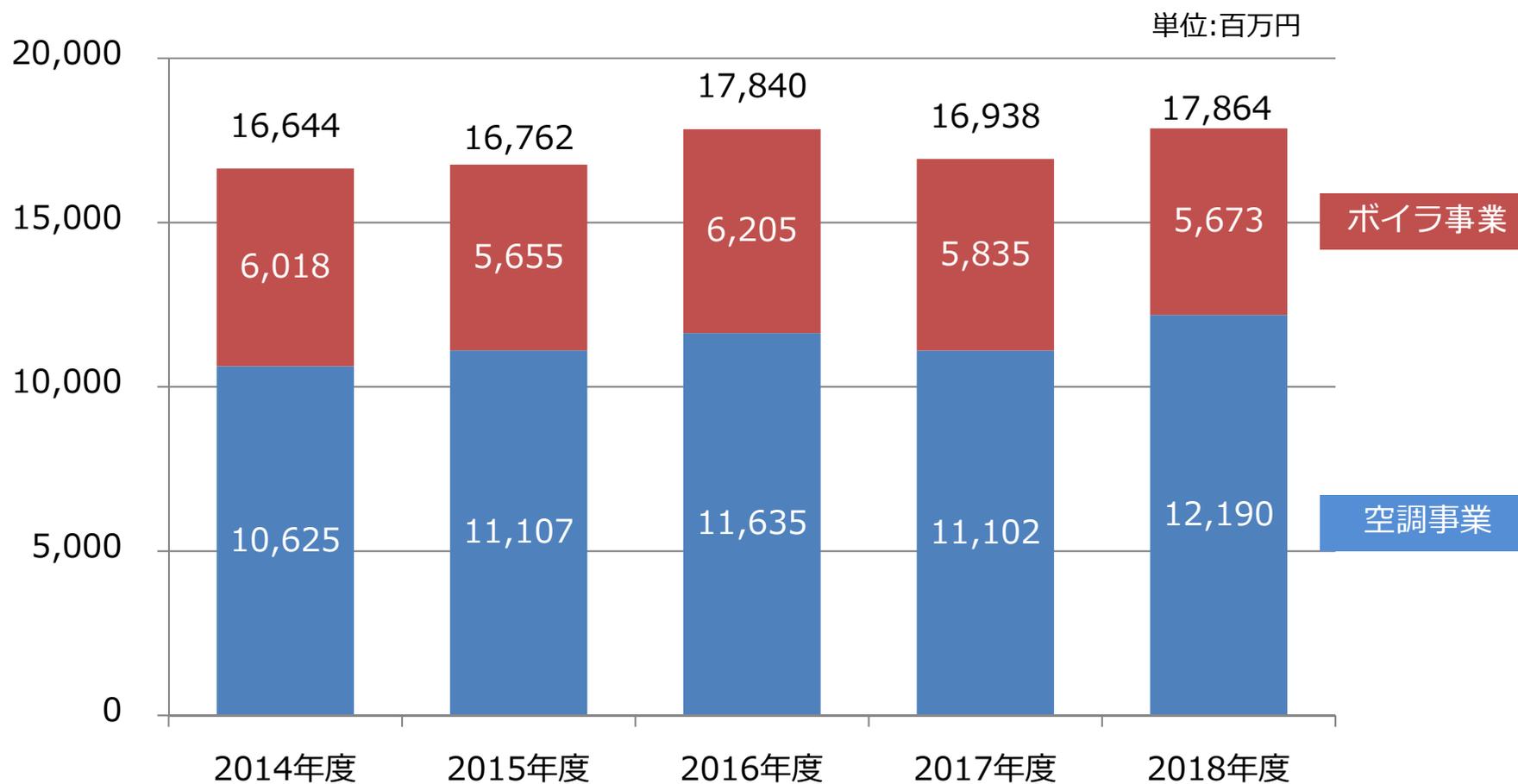
・水素焼き製品開発

川崎重工グループが推進する水素関連事業では、当社がこれまで培ってきた燃焼技術を活かした水素焼き製品（貫流ボイラ、吸収式冷温水機）の開発に注力し、来たるべき水素社会に向け積極的に取り組んでまいります。

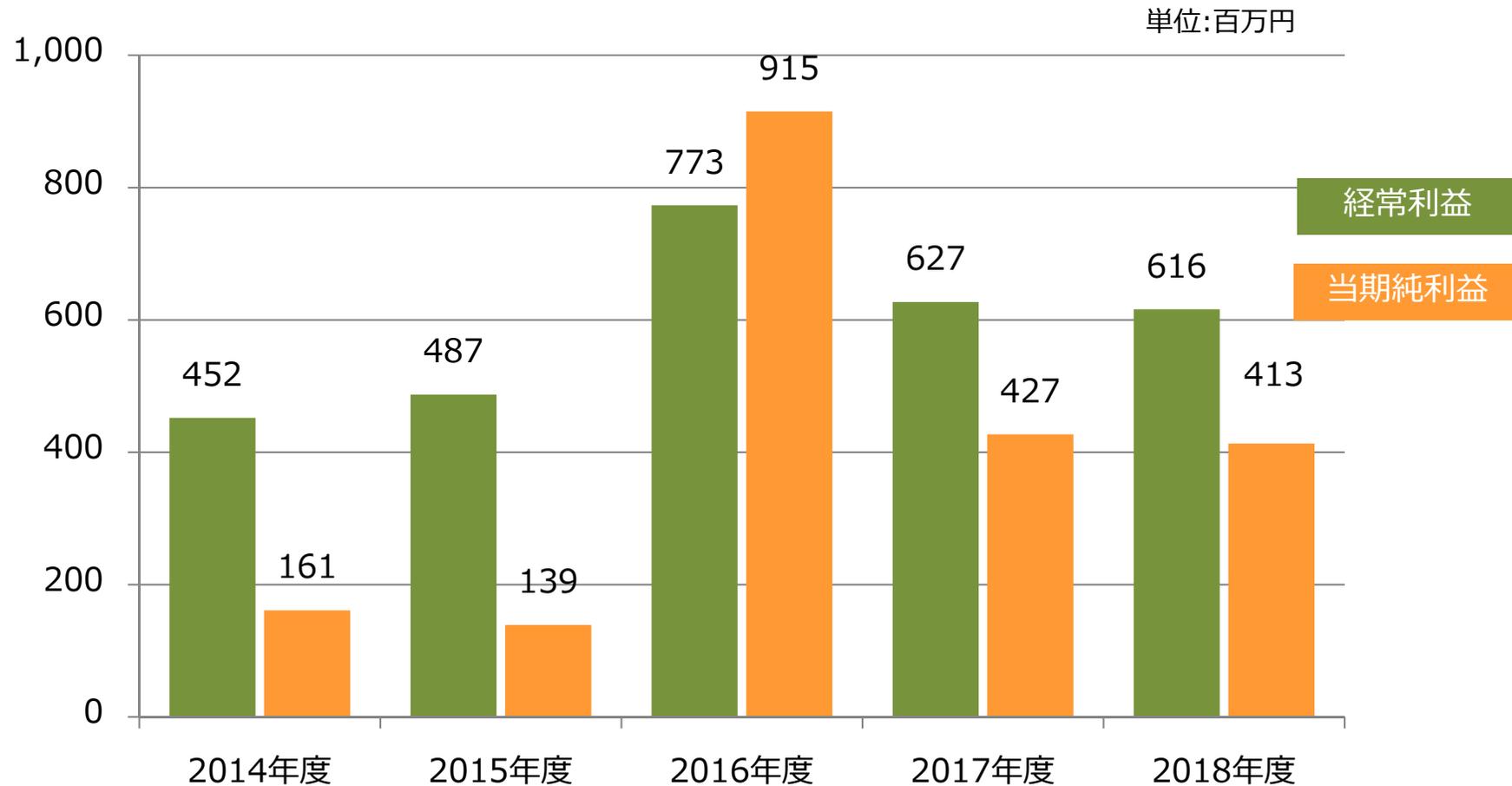


参考資料

売上高の推移（ヒストリカル・データ）



利益の推移（ヒストリカル・データ）



本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの^{いま}現在と未来へ



企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。